

# くにびき通信



2025年度 第9号

(1月21日～2月25日)

はじめに

立春を過ぎ、早くも春が訪れています。先日の大雪から一転、温かい日が増え、早くも梅やマンサクなど春の花々が咲き始めました。温かい日差しや春の気配にうきうきする半面、冬が好きな私にとって少し残念な気もします。

先日、2月21、22日の土日に、今年度最後のキャンプを行いました。雪はもうすっかり解けてしまっていて、予定していた雪中キャンプにはなりませんでしたが、今年のキャンプ集大成として自らチャレンジするテーマを決めて臨みました。年度当初はマッチを擦ることすらおぼつかなかった学園生もいましたが、今回はマッチ一本でスムーズに火をつけたり、一人で摩擦式の火おこしにチャレンジしたりする姿に大きな成長を感じました。また今回は食材もすべてリクエストで思い思いの料理を作りましたが、パスタやきりたんぽ、オムライスなどバラエティーに富んだメニューが勢ぞろいしました。また中には焚火と飯盒で作れるとは思えない、クレープ作りに挑戦した子もいましたが、終わってみればみんなとても上手に作り上げていました。他にも竹で作ったシェルターで寝たり、石と鉄板で作ってみたりなど、面白いアイデアが盛りだくさんで、キャンプ活動の今後の可能性を子どもたちから見せつけられたような気がします。総じて、学園生の個々の成長とチャレンジ精神、そしてアイデアと好奇心に頼もしさを感じた今回のキャンプとなりました。

そんなキャンプも終わり、一層春の匂いが立ち込め始めるこの時期は、一年の終わりが近づいてきていることも意味しています。毎晩学園歌の練習をしながら22期生の修園のつどいに向けて、残り少ない日々を大切に過ごしていきたいと思えます。

大田市山村留学センター  
指導員 浅平泰地

## 活動カレンダー

1月28日(水)	センター入り	2月11日(水・祝)	紙すき体験他
1月31日(土)	PTA 共催親子スキー	2月17日(火)	センター入り
2月1日(日)	和楽器コンサート	2月21日(土)～22日(日)	
2月7日(土)	アルペンスキー		雪中(?)キャンプ
2月8日(日)	自由活動日	2月23日(月・祝)	大掃除・誕生日会
2月9日(月)	農家入り	2月25日(水)	農家入り

## PTA 共催親子スキー 1/31 (土)

この日は、北三瓶小中学校 PTA 共催で親子スキーをしました。約 30 名ほどが集まり、4~5 班に分かれて活動をしました。学園生は今年 3 回目のスキーになるので、初心者だった子も、どのコースでも滑ることが出来るようになりました。保護者も入れる人は子どもと同じ班に入って滑ったり、久しぶりにスキーをするという保護者は初心者班に入り一から大國さんに教えてもらったりと、それぞれレベル別に滑ることが出来ました。

子どもたちも保護者たちも、親子はもちろん他の人ともスキーをしながら交流を図ることができ、とっても有意義な時間を過ごすことができました。

## 曇り時々晴れ



## 和楽器コンサート 2/1 (日)

あすてらすで和楽器コンサートが行われ、北三瓶っ子太鼓クラブがゲスト出演しました。午前中にリハーサルを済ませ、コンサートの開演前には希望

者で篠笛の体験教室に参加しました。お土産に簡易的な篠笛をもらい、嬉しそうに吹いていました。その後は、和楽器コンサートを鑑賞してから、コンサートの終盤、いよいよ太鼓クラブの出番が来ました。豊年太鼓、海のお囃子、三宅島太鼓の 3 演目を披露し、会場からは大きな拍手と温かい声援をいただきました。最後に出演者全員で「小さな世界」と「さんぽ」の演奏があったので、太鼓クラブのみんなも後ろの方で歌を歌いました。

## 雨



## アルペンスキー 2/7 (土) 雪

この日は朝から雪が降っていましたが、そんなのは気にしない学園生達は 1 日中スキーを楽しみました。4 回目となる今回は、学園生も指導員もみんなが 1 つのグループになって講師の大國さんに指導してもらいました。それぞれ課題を大國さんに指摘してもらいなら滑ることができたので、そのおかげでどんどん滑り方が上手になり、この一日で随分レベルアップした子もいました。

残念ながら、次の日は大雪になってしまいスキー場に行くことができず、この日が最後のスキーとなってしまいました。学園生達は残念そうでしたが、初回に比べるとみんななどの斜面も安全に滑ることができるようになったり、板がハの字から揃えて滑ることが出来るようになったりとそれぞれレベルアップをして終えることが出来ました。



## 雪遊び (自由活動) 2/8 (日) 雪

朝から大雪警報が出ていたため、スキー活動は中止にしてセンターで過ごしました。とはいえ、大雪の中でも子ども達はセンターの外に出て、ソリ遊び、雪かき、雪だるま作り、イグルー作りと雪遊びを楽しんでいました。風も強く吹雪いていたので、すぐに戻ってきてセンターで温まっている子、それでも 1~2 時間で戻ってくる子といましたが、イグルー作りをしている子たちは、午前中も午後もそして夜まで頑張って作って、そしてその夜はイグルーの中で寝ていました。午後は、雪遊びをしない人たちでお正月に残ったお餅でおやつ作りをしました。最後のアルペンスキーが出来ず残念でしたが、思う存分雪遊びを楽しんだ 1 日でした。



## 紙すき体験

2/11 (水・祝) 晴れ

修園賞の紙を作るために浜田市にある石州和紙会館で紙すき体験をしました。説明を聞いた後、一人ひとり丁寧に教えて頂きながら自分の和紙を作りました。作り終わった後はお弁当を食べ、その後は、せっかく浜田市にや

ってきたので、石見神楽の代名詞ともいえる「大蛇」の蛇胴を作っている植田蛇胴製作所へ見学に行きました。この工房は蛇胴を発明した方のお孫さんがやっている工房で、発明当初から変わらない素材や作り方でやっていることや、大阪万博に55体の大蛇を出した話、大蛇の胴体は竹と石州和紙から作られていることなど貴重なお話を沢山聞くことが出来ました。その後は、柿田勝郎面工房へいき、石見神楽面

の特長や作り方を教えてもらいました。そして最後は、エクス和紙の館へ行き、お面の絵付け体験をしました。たくさんの種類の中からそれぞれ絵付けしたいものを選び、色を塗りました。お手本を見たり、自分流にアレンジしたりとそれぞれ個性がでていましたが、みんな最後まで真剣に作業に取り組んでいました。それぞれ良い作品ができあがりました。この日は石見地方の伝統文化に触れた1日でした。



## 雪中(?) キャンプ

2/21 (土) ~ 22 (日) 晴れ

もともと雪中キャンプの予定でしたが、2月の前半の大雪警報が出た頃に積もった雪は、あっという間になくなり、気温も高くなってきたため、雪中キャンプでも寒中キャンプでもなくなってしまいました。子ども達も「1学期の裏山キャンプと変わらないよね。それよりも薪も乾いているから簡単じゃない」と話しているほど。しかし、今回は年間5~6回やっているキャンプの総まとめということで、このまま普通にやっては面白くないと指導員も考え、今回のキャンプは、「何かにチャレンジするキャンプ」をテーマに、火熾しの仕方、食事、

寝床など、何をしてもいいので、今までのキャンプの体験をいかしながら、自分がチャレンジしたいことを考えてキャンプをすることにしました。みんな、今まで作ったことのないメニューにチャレンジしたり、テントは使わずブルーシートだけだったり、竹を採ってきて寝床を作ったり、火熾しは、マッチを使わず弓切り式、紐切り式、きりもみ式、などにチャレンジしたりと、それぞれ工夫をしたキャンプができました。



## 大掃除

2/23 (月・祝) AM 晴れ

今年度最後の掃除をしました。今回も午前中だけの短い時間でしたが、どの子も自分から汚いところや整理しないといけないところを見つけながら掃除に取り組んでいました。午前中のみとはいえ、3時間ほどの掃除を誰一人集中力を切らすことなく、黙々と取り組みました。



## 誕生日会 2/23 (月・祝) PM 晴れ

3学期の誕生日会を行いました。まず、お昼を食べたあとレクをしました。今回は、大運動会ということで、赤白2組に分かれて「何でもリレー」「しっぽとり」「丘リレー」「ドッジボール」の4種目で競い合いました。どの種目も白熱した戦いで、最終結果は2チーム同点優勝で終わりました。その後、食事チームと会場準備チームに分かれて準備開始です。今回は、「自分たちで焼いた炭でバーベキュー



をする」ということで、まだまだ寒い夜でしたが外でバーベキューを楽しみました。西村さんやセンター長、聖治さんからも差し入れがあったり、後半では、カラオケ大会も始まり誕生日会は大盛り上がりでした。最後は、食事係が作ったパフェをみんなで食べて、お祝いの歌を歌いました。さらに最後の最後に「みんなで歌える歌をみんなで歌いたい」という声があがり、学園歌をみんなで熱唱し終わりました。途中で自然と肩を組み始め丸くなって歌う学園生達の姿に熱くなるものが込み上げてきました。



### 西村崇司のつぶやき

#### ＼年中行事／

今日は2月23日の天皇誕生日。2月も下旬となり3月もすぐその週を迎え気ぜわしくなってきました。仕事柄、1年を年度で捉える癖がついていることや、稲作をしていたので田捨え(たごしらえ)の準備が始まることを体が覚えているからなのでしょう。当地でもきのう22日はなんと20度超えのとても暖かい一日で夜のニュースで「春一番」だったようですし、2月にして25度越えの「夏日」となった地域もあったようです。ひるがえって1月の中旬頃、テレビの天気予報で「今日は雪模様ですが黄砂(こうさ)もやって来ますので・・・」と週間黄砂予報を見聞きしたときは「えっ、この時期に」と思わず口に出ました。黄砂といえば3月、黄砂情報が出たら洗濯物の外干しは避けるといったことも遠い思い出になりました。黄砂といえど3月、みなさんにとって「春が来た」と感じる瞬間は何でしょうか。スイセンの香り、春一番が吹いた、カメムシ(屁コキムシ、ハットジ)が出てきた、時化の多い海辺も風の日が多くなる、店頭にワカメが出てきたなど各自各様ですがわたしの場合は2段階あります。第1弾はもっとも早咲きの梅の木がどんなに寒くても、あるいは雪が積もっていても必ず1月中旬には花をつけるとき、第2弾が2月初旬のカエルの鳴き始めです。ことしは、1月8日(雪が10cm積もっていました)にピンク色の梅の花を確認、カエルの鳴き始めは2月5日(偶然にもこの日は暦のうえでの立春)でした。こんなことを書きながら通勤時の路傍には枯葉のなかにヨモギなどの青葉が少しずつ色を濃くし伸びていることを思い出し、いよいよ本格的な草刈りを始める時期になったと少し気が引き締まっています。

さて、先月1月の農家会合で佐津目(さつめ)にお住いの矢田の父さんからおもしろい話をうかがったので紹介します。「今でも年末にはケジョウと言って横屋さん(よこや。神官の官舎のことでひろく神官やその家族もさす)が水の神・火の神・八幡さんの3つのお札を持って来られ1年前のお札と交換してくれる」「正月飾りは松の内が終わる1月7日にトンドさんをこしらえて焼く」との話です。佐津目は大田市の最も東に位置し隣りは出雲の国・佐田町です。大社の海にそそぐ神門川(かんどがわ)の支流のひとつ伊佐川(いさがわ)の中上流部に位置し、歴史的には簸川郡佐田村のひとつが佐津目です。下流から下(しも)・中(なか)・上(かみ)の頭語のつく3つの地区がありなんらかの理由で昭和最後の大合併時に上佐津目は西に接する山口村と一緒に大田市へ編入されています。佐津目は旧の出雲の国のひとつであり地理的にも隣接していることから、出雲地方の風習や慣習、生活様式が残っているのでしょうか。前段のケジョウは穢浄と書くようで家の内外を祓い清め新年を迎える行事、後段のトンドは正月に家へ迎えた歳神様を送り正月飾りや書き初めを燃やし火のけむりにあたることで健康や幸運を授かる行事です。このような行ないを年中行事と言いますがわたしが住むまちでは、各家の火力はかまどで水は井戸でまかなっていた幼少の頃には台所の壁に「●●除災」「○○加護」と書かれた札が貼ってあったことはかすかに記憶が残っていますが神職の方がお札を持って来られたことは記憶がなく、トンドという火祭りはなくテレビ映像で知ったのもずいぶん大きくなってからです。地域によって違いはあるにせよ、年中行事のいくつかを続けられている集落は豊かだと思ふと同時にこれからも続けて欲しいと切に願っています。わたしはというと3月中旬、これから田んぼの仕事が忙しくなるぞと男手が言い始めるときに家の女たちが必ず作っていたヨモギ餅を今年は作ってみようかと考えています。

## 「くにびき通信」2025年度 第9号



大田市  
山村留学センター  
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センターバックナンバー  
公式ホームページ

〒694-0002 鳥根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp